

取組の主体			取組の対象				地域の国際化			特色ある取組				
JET-ALT	任用団体	CIR等との連携	児童・生徒				教員	住民	異文化理解	地域活性化	多文化共生	長期休業中の取組	配置の工夫	デジタルツールの活用
			未就学児	小学	中学	高校								

No.14 韓国人高校生とのオンライン交流企画

実施時期：令和3年～現在
任用団体名：鳥取県

取組のポイント

- 韓国語選択の生徒と、第二外国語として日本語を学ぶ韓国人高校生が、掲示板サイトを通じて交流。手紙、プレゼントの交換を経て、学年末にオンライン交流を実施。
- 言語だけでなく、日本と韓国の習慣の違いなど、異文化理解への理解を深める。

任用団体の基本情報

人口：539,190人

※令和5年4月1日現在

JETプログラム参加者の人数：(ALT) 25人 (CIR) 2人 (SEA) 0人

学校数：高等学校24校、特別支援学校8校

取組の背景・課題

本校では隔年で韓国語選択者による韓国への研修旅行を実施しているが、ここ数年は新型コロナウイルス流行の影響で中止が続いた。

そこで、実際に習った言語でコミュニケーションをとる機会を増やすために、JET-ALTの母校の教員、また以前に交流を通じて知り合った韓国の日本語教員と連絡を取り、交流活動を開始した。

取組の内容

交流の内容は以下のとおりである。

- 生徒は日本人にとって当たり前のことには着眼しにくい傾向にあるため、全ての活動に際し、JET-ALTが韓国人として日本に対し気になっていること、知りたいこと、韓国との相違点などを事前に生徒に伝え、ヒントを与える。
- Padlet（写真、動画投稿型掲示板）を通じて互いの国の生活や文化を紹介し、より身近な話題を提供する。
- 韓国人生徒と日本人生徒のペアを作り、年に2度、手紙、写真及びプレゼントの交換を行う。手書きの文字に触れることのできる貴重な機会でもあり、教科書には出てこない呼称、話し言葉の学習にもつながっている。JET-ALTの発案で、交流校として地域限定の菓子やグッズを交換し合い、生徒に還元している。

取組の内容（続き）

- 手紙やプレゼントを開封するときの様子、自分のペアに対しての挨拶を同時に撮影し、双方で交換している。
- 学年末にオンライン交流を行う。ペアの生徒と実際に会話を交わすことのできる機会を設けることで、さらなる韓国語学習へのモチベーション強化を目的としている。交流に先立ち事前学習を行い、交流中にする質問等はあらかじめある程度決めておき、JET-ALTの助けを借りながらスムーズに質問、回答できるように準備しておく。オンライン交流は双方の地域紹介のプレゼンテーションから始め、質問のやり取りやタブレットを持ち歩いての学校紹介も含む。



韓国人生徒からのプレゼント開封の様子



韓国人生徒とのオンライン交流の様子

取組の成果・今後の展望

生徒にとってはコミュニケーションをとる相手が大人ではなく、自分と同じ年代の高校生であるため、等身大の姿でやり取りできると好評である。言語だけでなく、特に文化面での収穫が大きい。単発での交流は多く行われており、本校も参加してきたが、一年を通して同じ相手と交流を続けることで、より深い学びへとつながっている。また、同じ規模の地域と交流することで生徒同士がより身近に感じられ、JET-ALTの出身地を選択することでより関心が高まるといった効果が見られた。

指導する側にとっても、普段意識しない日本人にとって当たり前の習慣が外国人にとっては異文化と感じられることなど、多くの気づきがある。

生徒は交流に対し非常に積極的で、特にオンライン交流では教員やJET-ALTの手を離れ、自由にやり取りする姿が散見できた。卒業後も個人的にやりとりを続けている生徒も多く、今後もより絆が深まるような交流を継続していきたい。

問合せ先

担当部署名：鳥取県教育委員会事務局高等学校課市指導担当

T E L : 0857-26-7786

M A I L : koutougakkou@pref.tottori.lg.jp

U R L : <https://www.pref.tottori.lg.jp/koukou/>

